

日本地球化学会 第 67 回オンライン年会

S2 「微生物生態学2020」

微生物生態学会共催セッション Zoom 企画プログラム

コンビーナ（Zoom 企画当日の座長も担当）：

川口慎介(JAMSTEC), 中島悠(産総研), 岡崎友輔(産総研), 熊谷洋平(JAMSTEC), 微生物生態学会若手会

発表形式：

①微生物生態学の最前線(研究レビュー)

コンビーナが「微生物生態学」の学問的背景を概説しながら、5名の若手による研究*を具体例として紹介する。60分(個別研究への質疑応答含む)

②通常発表(発表 15 分+質疑応答 3分+バッファ2分)

11/19 (9:00~17:00; 昼食休憩 12:00~14:00)@C会場

昼食休憩の間「生命系セッション ランチ交流会」と題した交流会を開催します(任意参加)。

午前の部 (レビュー+発表 5 演題)

1. (9:00~10:00)

岡崎友輔、中島悠、井上真男、金子博人、志野裕亮、峯田航、山下大祐、熊谷洋平
微生物生態学の最前線

2. (10:00~10:20)

足立夕花 京都大学 農学研究科 応用生物科学科 海洋分子微生物学分野
始原的呼吸機能の解明に向けたParageobacillus thermoglucosidasiusにおける一酸化炭素酸化能欠失株の創出とその性状

3. (10:20~10:40)

奈須野 恵理 宇都宮大学
Quorum sensing機構を巧みに利用したRoseomonas属細菌の生存戦略

休憩 (10:40~11:00)

4. (11:00~11:20)

杉山 大地 宇都宮大学大学院地域創生科学研究科
Roseomonas sp. TAS13株におけるQuorum sensingシグナル受容体LuxR soloの機能解析

5. (11:20~11:40)

長谷川万純 東京大学大気海洋研究所
微生物型ロドプシンを用いたシアノバクテリアの新たな光利用

6. (11:40~12:00)

関 篤也 宇都宮大学大学院 地域創生科学研究科
Roseomonas属細菌由来Penicillin G acylaseのN-acylhomoserine lactone分解と抗生物質耐性の二機能性解析

午後の部 (発表 8演題)@C会場

7. (14:00~14:20)
内野正洋 静岡大学大学院総合科学技術研究科理学専攻地球科学コース
沿岸部の地下帯水層に生息する新規微生物群集の代謝推定
8. (14:20~14:40)
高橋輝希 静岡大学大学院・総合科学技術研究科・理学専攻・地球科学コース
付加体の深部帯水層に生息するメタン生成菌の同定と定量解析
9. (14:40~15:00)
中山洋平 静岡大学大学院 総合科学技術研究科 理学専攻 地球科学コース
水素資化性メタン生成菌を含む、深部地下水を用いたメタネーション技術の開発
10. (15:00~15:20)
武部紘明 京都大学農学研究科
ミクロコズム培養系を用いた海洋性優占原核生物遷移過程におけるウイルス動態解析
- 休憩 (15:20~15:40)
11. (15:40~16:00)
大久保公貴 九州大学
輝安鉱山から得られた微生物群集によるアンチモン代謝の地球化学的および微生物学的特徴づけ
12. (16:00~16:20)
富永賢人 京都大学大学院 農学研究科 応用生物科学専攻 海洋分子微生物学研究室
海洋原核生物も"密集"すればウイルスによる感染を受けるのか？
13. (16:20~16:40)
沈尚 京都大学
琵琶湖ウイルスの多様性と季節変動
14. (16:40~17:00)
橋本侑里南 京都大学 農学部 資源生物科学科
水曜海山・熱水噴出活動域に生息する新規硫酸還元菌

*: 微生物生態学の最前線で紹介する若手の研究事例

- 金子博人 京都大学化学研究所
衛星データと海洋微生物生態系をグローバルスケールで結びつける
- 山下大祐 九州大学システム生命科学府
有害元素アンチモンを利用する微生物複合系による鉄代謝 ~環境浄化の可能性~
- 井上真男 京都大学大学院農学研究科
Parageobacillus 属細菌の一酸化炭素ガス利用における呼吸鎖と
始原的呼吸のクロストーク
- 志野裕亮 宇都宮大学工学部
Roseomonas sp. TAS13株の転写制御因子RotRの遺伝子発現レベルでの
Quorum sensing シグナルに対する応答性評価
- 峯田航 宇都宮大学工学部
アシル化ホモセリンラクトン分解細菌の固定化担体を用いた
グラム陰性細菌の細胞間情報伝達阻害